(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3122634号
(U3122634)
(45)発行日　平成18年6月29日(2006.6.29)　(24)登録日　平成18年5月31日(2006.5.31)

(51)Int.Cl.　F I
E01C 9/08 (2006.01)　E01C 9/08 A

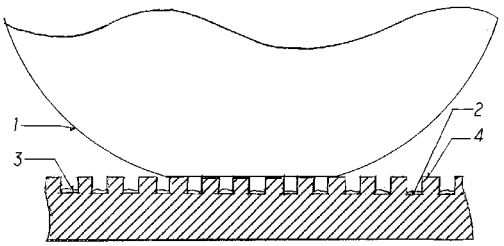
評価書の請求 未請求　請求項の数 2　書面　(全 3 頁)

(21)出願番号　実願2006-2513(U2006-2513)
(22)出願日　平成18年3月6日(2006.3.6)

(73)実用新案権者　506114056
斎藤　貴志雄
秋田県北秋田市綴子字佐戸岱７９番地２０
(73)実用新案権者　506114067
藤本　忠
秋田県北秋田市東横町１０番１３号
(72)考案者　斎藤　貴志雄
秋田県北秋田市綴子字佐戸岱７９番地２０

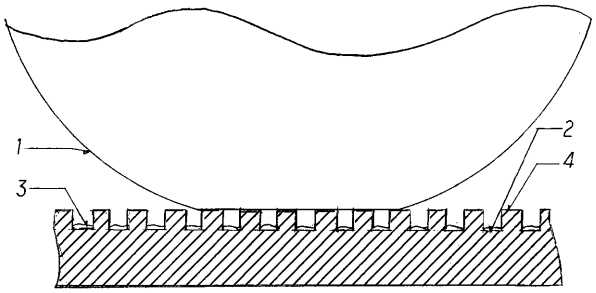
(54)【考案の名称】滑り止め付き敷き鉄板

(57)【要約】　(修正有)
【課題】敷き鉄板の表面が雨水や土砂等でぬれていたり油分が付着している場合、歩行者の靴底や、車輌のタイヤ等と敷き鉄板の間の薄水膜や土砂膜や油膜による滑りやすく危険な状態を解消する。
【解決手段】敷き鉄板２の表面に多数の突起物４を有する。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
表面に多数の突起物を有した敷き鉄板
【請求項２】
表面が凹凸になっている敷き鉄板
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は仮設工事等に使用する、滑り止め付き敷き鉄板に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来の敷き鉄板には表面に突起物等がない。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
しかしこれでは表面が雨水や土砂等で濡れたり、油分が付着している場合、歩行者の靴底や車輌のタイヤと敷き鉄板の間の薄水膜や、土砂膜や、油膜によりすべりやすく危険である（図２）
【課題を解決するための手段】
【０００４】
そこで表面に多数の突起物を有することにより、歩行者の靴底や、車輌のタイヤが、直接　薄水膜や、土砂膜や、油膜に接することがない、滑り止め付き敷き鉄板を、考案した（図１）
【考案の効果】
【０００５】
よって、本考案の滑り止め付き敷き鉄板を使用することにより、歩行者の靴底や、車輌のタイヤは、突起物の上に乗ることにより、直接敷き鉄板上の薄水膜や、土砂膜や、油膜に接することがないので滑りにくくなり安全に通行することができる。
【考案を実施するための最良の形態】
【０００６】
本考案に係る滑り止め付き敷き鉄板は、図（１）に示すように突起物を有している敷き鉄板である。突起物の間隔及びその高低差は歩行者がひっかからない程度がよい。
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】　本考案に係る滑り止め付き敷き鉄板を、使用している状態の断面図である。
【図２】　従来の敷き鉄板の断面図である。
【符号の説明】
【０００８】
１　　タイヤ
２　　敷き鉄板
３　　薄水膜等（土砂膜、油膜）
４　　突起物

【図１】



【図２】

